

色彩調和と健康

井上 昌樹

個人的な話になりますが、今からおよそ一年前、私は人生で初めて全身麻酔による手術を経験しました。口腔の小さな病気を摘出する手術でしたが、これまで大きな病気を経験してこなかった私にとって、人工呼吸器をつけての手術はとても大きな出来事でした。手術は無事に成功しましたが、この経験から、健康とはどういうことかに深く関心を持ち、美術教育や色彩教育が人の命にどのように貢献できるのかについて、改めて考えを巡らせるようになりました。

WHO憲章（1948年）では「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも全てが満たされた状態であること（日本WHO協会訳）」と定義されています。自分自身が満たされている状態には客観的な指標があるわけではなく、とても個人的なものと言えます。また、病気が治ること＝健康ではなく、人間としての全体的なバランスや調和が保たれている状態とも捉えられます。

色彩教育の観点から人間の調和と健康について考えてみると、色彩調和の考え方は一つの重要な鍵になるのではないかと考えます。以前本部研修会に参加した際、自然の中に色彩調和のヒントがあることや、各色相間の無限のグラデーションから自分なりの色を見出すことが、身体的調和のレッスンになるということを学びました。色彩教育では、体系的な色の知識を学ぶことで多様な問題解決に活かすことができるとともに、色彩調和により健康な心と体を取り戻し、一人ひとりがよりよく生きること＝ウェルビーイングに貢献するのではないかと期待しています。分断が進む社会の中で、心身ともに健康に生きていくための色彩の力について、探究の必要性を強く感じる今日この頃です。



落ち葉の色並べ



土の色集め

井上 昌樹（イノウエ マサキ）
育英短期大学講師

今回のトピック：プロダクトデザインと色

本号では、プロダクトデザインと色について取り上げ、CMFデザイナーとして活躍されている安岡義彦さんにご執筆いただきました。CMFはColor(色)、Material(素材)、Finish(加工)の頭文字を取った言葉です。色いろサロン第7回にもご登壇いただき、お話しいただく予定です。

不均一なCMFデザインのすすめ

安岡 義彦

物質的な豊かさを価値基準にする社会では、同じテンポで同じようなパフォーマンスで反応すること、同調することが良しとされてきました。

しかし、心の豊かさに重きを置く現在、LGBTをはじめとして個々がありのままであることが徐々に認められ、均一であることの価値評価が揺らぎ崩れようとしています。

カラーデザインに対する私たちの価値観も出荷された時の真っ新な均一性、繰り返し作られるモノの均一性を保つこと、いつまでもできる限り同じであり続けることよりも個々の製品の微妙な仕上がりの違い経年変化による独自の味わいを求める方向に変化してきているのではないのでしょうか？ 今では住まいの建材も工業製品化が進み、住み続けることによる価値が見出しにくくなり、汚くなった、塗り替えた、張り替えた、建て替えたを繰り返すことでは地球環境も住む人の心も枯れていくばかりでしょう。

モノと環境のCMFについて完成時の美しさだけでなく、時間を刻むことによって生み出される変化を見つめ直し、時間と共に価値を高めるものを観察して活かす手法について考察しました。キーワードは、「揺らぎ」。基本的な単位は、同じですがそれぞれの個性が集うことで生まれる価値。答えは自然の中にあるのかと思います。何よりも私たち人間は、同じ形でありながら大きさ、色、バランス、声、体温、匂い、触感も個性的ではありませんか？

<p>■消費するプロダクトカラーデザイン CMF</p> <p>製品の工業製品は、色鮮やかな消費者の購買意欲を喚起し、色鮮やかなトレンドカラーという短期間の付加価値を生み、次に最新の色を更新することでトレンドカラーの色を刷新して後継、改良、買い替えをサイクル化した。</p> <p>着色工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部着色(着色ペレット樹脂、接着剤樹脂等) 外部着色(塗装、染色、フィルム、アルマイト、メッキ等) <p>要求</p> <ul style="list-style-type: none"> 均一性(色、素材、仕上げ) 不変性(再水性、耐久性) <p>管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マスターカラー-見本 製造見本 検査、評価 	<p>■消費するプロダクトカラーデザイン CMF</p> <p>消費するプロダクトカラーデザインは、色鮮やかな消費者の購買意欲を喚起し、色鮮やかなトレンドカラーという短期間の付加価値を生み、次に最新の色を更新することでトレンドカラーの色を刷新して後継、改良、買い替えをサイクル化した。</p> <p>着色工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部着色(着色ペレット樹脂、接着剤樹脂等) 外部着色(塗装、染色、フィルム、アルマイト、メッキ等) <p>要求</p> <ul style="list-style-type: none"> 均一性(色、素材、仕上げ) 不変性(再水性、耐久性) <p>管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マスターカラー-見本 製造見本 検査、評価 	<p>■経年変化する自然素材 CMF</p> <p>経年変化する自然素材は、色鮮やかな消費者の購買意欲を喚起し、色鮮やかなトレンドカラーという短期間の付加価値を生み、次に最新の色を更新することでトレンドカラーの色を刷新して後継、改良、買い替えをサイクル化した。</p> <p>着色工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部着色(着色ペレット樹脂、接着剤樹脂等) 外部着色(塗装、染色、フィルム、アルマイト、メッキ等) <p>要求</p> <ul style="list-style-type: none"> 均一性(色、素材、仕上げ) 不変性(再水性、耐久性) <p>管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マスターカラー-見本 製造見本 検査、評価
<p>■経年変化に愛着を感じる心理 WEST CMF</p> <p>夕暮れの静けしを種やかに映す石畳</p> <ul style="list-style-type: none"> 石畳の静けしを種やかに映す石畳 遠くから聞こえる水音の音が心地よい 石畳の静けしを種やかに映す石畳 <p>規則性と不均一性のバランスが生み出す 1/fの揺らぎ</p>	<p>■経年変化に愛着を感じる心理 EAST CMF</p> <p>茶室の設え</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の素材から採り出した素材を 採り出した素材を 採り出した素材を <p>規則性と不均一性のバランスが生み出す 1/fの揺らぎ</p>	<p>■SDG'sに呼応するモノ作りCMF CMF</p> <p>ロングライフ、メンテナンス、愛着、価値を高めることで社会的に貢献する持続可能な社会、地球環境を改善するモノ作りは、価値の付加に繋がります。不均一であることを一歩ずつに近づけようとするのではなく、不均一性を活かすことで、価値を高めることができます。</p> <p>着色工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 素材色(リサイクル素材(自然素材、合成樹脂)100%-混合) 内部着色(リサイクル素材(着色ペレット樹脂、接着剤樹脂等)) 外部着色(自然素材、天然染料、アルマイト等) <p>要求</p> <ul style="list-style-type: none"> 不均一性(1/fの揺らぎ) 経年変化の軌跡 <p>管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 不均一性のガイドラインの設定 出荷時-経年変化の見本(見本、仕様)



プロフィール
 武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業
 1985～ 株式会社川島織物、2007～ 株式会社タイカ転籍
 2015～ 寿屋フロンテ株式会社
 30年以上インハウスCMFデザイナーとして工業デザイン従事しながら
 Color with 代表としてCMF研究、教育、コンサルティングに携わる
 武蔵野美術大学、JAFCA、塗料報知新聞社、サイエンス&テクノロジー、技術情報協会、
 R&D支援センター(講義、執筆)
 AFT、東商認定色彩講師
 日本色彩学会会員

会員リレーコラム

「役割を持った色」

私たちが色を選ぶ時、ほとんどは自分の好きな色を選びます。しかし、多くの人を使う場所や物の色は、視認性や識別性といった役割を持つことが必要になります。

例えば市販薬のパッケージは、購入者がイメージしやすいよう、解熱剤、痛み止めは青系、胃腸薬は黄や緑系、滋養強壮剤は黒や赤系などになっており、それは色彩心理と結びつき、消費者が一目でなんの薬かがわかりやすいよう工夫がされています。

一方、処方薬は、薬剤師さんがわかりやすいよう、管理しやすいようにシートや薬剤に色付けされています。

「この色は、誰にとってなんの役割を持った色なのかな？」と、周りの色を見ても面白いです。



瀧川 まさみ (タキカワ マサミ)
日本色彩教育研究会 正会員

夏季研修会のご案内(第一報)

今年度も本部および支部にて、夏季研修会を開催する予定です。お申込み方法など、詳細は[日本色彩教育研究会HP](#)または支部([近畿支部](#)、[九州支部](#))発信先に掲載いたします。皆さま奮ってご参加ください。

※下記は現段階での内容です。

●第74回本部夏季研修会●

テーマ：ワークショップで学ぶ色彩3 —多感覚×色彩の学び—

日時：2024年8月18日(日)10：00～15：50

会場：日本大学芸術学部 江古田校舎西棟2F デザイン学科アトリエ C-1 (仮)

第1セッション：「音をみる 色をきく」駒 久美子 (千葉大学) 島田 由紀子 (國學院大學)

第2セッション：「色は匂へと」若田 忠之 (湘南工科大学)

トークセッション「多感覚で色を認知・表現するとはどういうことか？」

●第40回近畿色彩教育研究会●

テーマ：色から広がる子どもの世界

日時：2024年8月6日(火)、8月7日(水)

会場：大阪府立男女共同参画青少年センター 1階パフォーマンススペース

8月6日 午前の部 大橋 功 (和歌山信愛大学 教育学部子ども教育学科 教授)

午後の部 奥村 高明 (元日本体育大学 教授、元文部科学省 教科調査官)

8月7日 午前の部 団上 哲 (奈良県桜井市朝倉小学校 教諭)

午後の部 上田 信行 (同志社女子大学 名誉教授、ネオミュージアム 館長)

オンラインセッション 第7回『色いろサロン』のご案内

Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』の第7回を開催いたします。今回はテーマを『プロダクトデザインと色』として、執筆者の方に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加も大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2024年6月28日（金） 20：00～21：00

●方法：ZOOMによるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

・Color Circle vol.07のトピック執筆者によるお話

安岡義彦さん

名取初穂さん（司会）

・トピックに関する質疑応答

・参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/66ArEFfSBs8t62FCA>

参加申込・参加費納入期限：2024年6月26日（水）

⇒6月27日（木）にZOOMのURLをお送りいたします。

※sikisaikyoiku@gmail.comからのメールが迷惑メールに分類されないよう、設定をお願いいたします。

※6月27日中にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、事務局までご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局 (sikisaikyoiku@gmail.com)



日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

(名取初穂, 島田由紀子, 手塚千尋, 中島千絵, 宮野周, 大内啓子, 佐々木三公子)

